

学修概要

病気の本態，原因，経過などの知識を習得し，病気に関する知識を体系化して理解する。
 さらに，口腔内に発生する種々の病変における臨床所見および肉眼的，組織学的所見など基本的な事項について学ぶ。

- 教科書：最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学（医歯薬出版）
- 参考書：特に指定なし
- 授業時間：火曜日 13：00～13：50，14：00～14：50
- オフィスアワー：尾曲 大輔 月曜日 17：00～18：00 (omagari.daisuke@nihon-u.ac.jp)
 角田 麻里子 月曜日 17：00～18：00 (ootsu.mariko@nihon-u.ac.jp)
- 授業の方法：板書およびスライドで授業を行い，適宜資料を配布する。
- 準備学習・ 各々講義時間相当を充てて教科書を読み，事前に授業内容の準備学習時間：目的を理解しておく。
- 成績評価：定期試験（80%），小試験（20%）の総合評価とする。
- 注意事項：講義項目に関連する内容を教科書で予・復習すること。
 講義終了後に小テストを行う。
- 実務経験：尾曲 大輔：歯科医師として歯科病院の病理診断をしている立場から，炎症，変性，循環障害を含め，身体に変化をもたらす全ての病態を理解した上で，口腔領域の病態への理解を深めてもらいたいと考えています。
 角田麻里子：歯科病院の病理診断をしている歯科医師の立場から，歯科臨床で病理学の知識がどのように活用されているかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 10月1日 尾曲 大輔	1. 病理学序論 2. 病因論 (教) pp. 2-6 3. 遺伝子疾患なら びに奇形 (教) pp. 8-12, 168-172	<ul style="list-style-type: none"> ・病理学とは何かを学ぶ。 ・病気の原因(外因と内因)やその種類を学ぶ。 ・遺伝子疾患のうち Down 症候群やフェニルケトン尿症などを学ぶ。 ・奇形の種類や原因について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第2回 10月8日 尾曲 大輔	4. 循環障害 (教) pp. 14-21	<ul style="list-style-type: none"> ・ うっ血, 充血, 出血, 虚血を理解する。 ・ 血栓症, 塞栓症, 梗塞の定義, 病因, 種類を理解する。 ・ 傍側循環の病因, 具体例を理解する。 ・ ショック, 浮腫, 血圧の異常について学ぶ。
第3回 10月15日 尾曲 大輔	5. 代謝障害 (教) pp. 23-33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変性, 萎縮, 壊死の定義と種類を理解する。
第4回 10月29日 尾曲 大輔	6. 増殖と修復 (教) pp. 34-39 7. 肉芽組織 (教) pp. 39-41	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肥大, 過形成, 再生, 化生の定義と種類を理解する。 ・ 肉芽組織とは何か, その役割や働きについて理解する。
第5回 11月5日 尾曲 大輔	8. 炎症と免疫 1) 炎症 (教) pp. 43-52	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炎症が生体防御機構の一つであることを理解する。 ・ 炎症の概念, 定義, 原因, 炎症の五大徴候について学ぶ。 ・ 炎症の経過, 治癒過程に関わる細胞について学ぶ。 ・ 炎症の種類について理解する。 ・ 特異性炎の定義と, 非特異性炎との相違点を学ぶ。 ・ 特異性炎である結核, 梅毒, ハンセン病について理解する。
第6回 11月12日 尾曲 大輔	8. 炎症と免疫 2) 免疫 (教) pp. 52-58, 161	<ul style="list-style-type: none"> ・ 免疫の概念について学ぶ。 ・ 免疫機構の破綻による疾患を学ぶ。 ・ アレルギーの概念, 病因, 種類について理解する。 ・ 自己免疫疾患のうち, SLE, シェーグレン症候群, 関節リウマチなどについて理解する。 ・ 原発性免疫不全症候群と AIDS について理解し, 全身への影響を学ぶ。 ・ 移植における拒絶反応 (GVHD) を例に移植と免疫の関係を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第7回 11月19日 尾曲 大輔	9. 腫瘍 1) 定義・病因・分類 2) 発癌機構 3) 上皮性腫瘍 4) 非上皮性腫瘍 (教) pp. 60-68	<ul style="list-style-type: none"> ・ 腫瘍の定義, 病因, 分類について理解する。 ・ 腫瘍がどのように発生するかを理解する。 ・ 上皮性および非上皮性腫瘍の種類を学ぶ。
第8回 11月26日 角田 麻里子	10. 歯の発育異常 11. 機械的・化学的損傷 12. 歯の付着物 13. 歯の着色 (教) pp. 70-85	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の大きさ, 形態, 数の異常を理解する。 ・ 咬耗・摩耗, 酸蝕症, 歯折について理解する。 ・ 歯の付着物の種類を学ぶ。 ・ 歯の着色の原因を学ぶ。
第9回 12月3日 角田 麻里子	14. う蝕 1) 原因・分類・種類 2) エナメル質う蝕 3) 象牙質う蝕 4) セメント質う蝕 5) 第2・3象牙質 6) セメント質増殖症 (教) pp. 88-95, 102, 119 15. 歯髄の病変 (教) pp. 97-101	<ul style="list-style-type: none"> ・ う蝕の原因, 分類, 種類を理解する。 ・ エナメル質, 象牙質とセメント質に生じるう蝕の組織像について理解する。 ・ 第2・3象牙質の原因, 形態を理解する。 ・ 象牙粒, 石灰変性の病因, 形態を理解する。 ・ セメント質増殖症の原因, 形態を理解する。 ・ セメント粒について理解する。 ・ 歯髄炎の原因, 分類, 種類について理解する。
第10回 12月10日 角田 麻里子	16. 歯周組織の病変 1) 根尖性歯周炎 2) 歯肉炎 3) 辺縁性歯周炎 4) 口腔創傷の治癒 (教) pp. 105-116	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根尖性歯周炎の病因, 分類, 種類について理解する。 ・ 歯髄炎に続発する歯根肉芽腫, 歯根嚢胞を理解する。歯肉炎, 辺縁性歯周炎の病因, 分類, 種類について理解する。 ・ 咬合性外傷について理解する。 ・ 口腔粘膜・抜歯創の治癒過程を理解する。
第11回 12月17日 角田 麻里子	17. 口腔粘膜病変 1) エプーリス 2) 色素沈着 3) 白色病変 4) ウィルス疾患 (教) pp. 117, 122-132	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯肉にできるエプーリスについて理解する。 ・ 口腔粘膜の色素沈着と全身疾患との関係を理解する。 ・ 白色病変のうち, 扁平苔癬, 白板症, カンジダ症について理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	18. 加齢的变化 1) 歯周組織の変化 2) 歯髄の変化 3) 唾液腺の変化 (教) pp.174-179	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウィルス感染の麻疹, 手足口病などによる口腔粘膜における病態を理解する。 ・ 加齢による歯周組織, 歯髄, 唾液腺の変化について理解する。
第12回 12月24日 角田 麻里子	19. 顎骨の病変 1) 顎骨骨髓炎 2) 腫瘍様病変 (教) pp.152-159 18. 唾液腺の病変 1) 唾石症 (教) pp.162	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顎骨に生じる炎症性疾患の病因, 分類, 種類について理解する。 ・ 顎骨に生じる腫瘍様病変のうち, 線維性異形成症と骨性異形成症について理解する。 ・ 唾液腺に生じる病変のうち, 唾石症について理解する。
第13回 1月14日 角田 麻里子	20. 口腔領域の嚢胞 1) 定義 構造 2) 歯原性嚢胞 3) 非歯原性嚢胞 (教) pp.133-137, 162	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嚢胞の定義, 基本構造を理解する。 ・ 歯原性嚢胞である原始性嚢胞, 含歯性嚢胞などについて理解する。 ・ 非歯原性嚢胞である粘液嚢胞や術後性上顎嚢胞などについて理解する。
第14回 1月21日 角田 麻里子	21. 口腔領域の腫瘍 1) 歯原性腫瘍 2) 非歯原性腫瘍 (教) pp.137-143	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯原性腫瘍であるエナメル上皮腫, 歯牙腫, セメント芽細胞腫などについて理解する。 ・ 口腔領域に発生する非歯原性良性腫瘍について理解する。
第15回 1月28日 角田 麻里子	22. 口腔領域の腫瘍 3) 口腔癌 4) 唾液腺腫瘍 (教) pp.146-150 (教) pp.163-165	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔癌について好発部位, 性差, 病因, 組織分類, 予後について理解する。 ・ 唾液腺の良性腫瘍である多形腺腫やワルチン腫瘍, 悪性腫瘍である粘表皮癌や腺様嚢胞癌について理解する。